

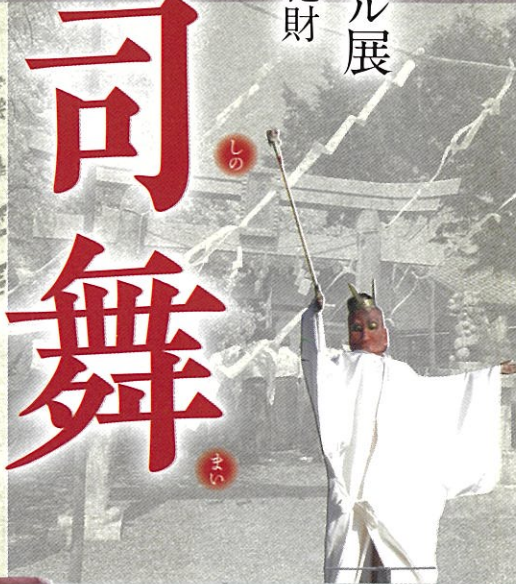
山梨県立博物館 シンボル展
国指定重要無形民俗文化財

天津司舞

九〇〇年の想いととも

令和4年5月28日(土)

6月27日(月)



江戸時代初期の祭礼用具を再発見! 約60年ぶりの一般公開!

休館日 毎週火曜日 開館時間 9:00~17:00(入館は16:30まで)

主催 山梨県立博物館 協力 甲府市教育委員会、天津司神社氏子、天津司の舞保存会



山梨県立博物館
Yamanashi Prefectural Museum

観覧料 常設展観覧料でご覧いただけます。

一般520(420)円 大学生220(170)円

- 高校生以下の方、65歳以上の方、障害者の方(およびその介護をされる方)は無料です。
- ()内は20名以上の団体、県内のホテルや旅館に当日か前日に宿泊する方を対象とした割引料金です。
- 無料、割引の対象となる方は、それぞれ証明できるものをご提示ください。
- 購入日から何度でも観覧できる年間パスポート(一般2,100円、大学生1,050円)もございます。

※ご来館時はマスク着用など、新型コロナウイルス感染症拡大予防対策にご協力ください。また、状況によっては中止、もしくは人数制限を行うことがあります。

モノクロ写真: (上中段左)「御成りの風景」(部分) 昭和34年(1959)内田宏撮影 山梨県立博物館蔵、(上段中)人形装束 江戸時代前期 天津司神社蔵、(上段右)「ヤマガヒ」アウトリーチ公演 令和元年(2019)
(中段中)『甲斐叢記』より天津司舞 嘉永4年(1851) 山梨県立博物館蔵、(中段右)天津司神社での神事 平成31年(2019)、(下段左)「御成りの風景」(部分) 昭和34年(1959)内田宏撮影 山梨県立博物館蔵
(下段中)天津司人形レプリカ(御鹿島様) 令和2年(2020) 天津司の舞保存会蔵、(下段右)現代の御成り 平成31年(2019)
カラー写真: 天津司人形 中世以降~現代 天津司神社蔵 写真提供: 甲府市教育委員会

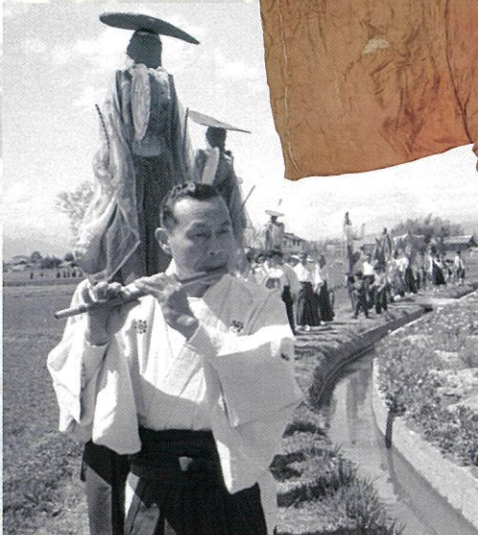
天津司舞

山梨県立博物館シンボル展
国指定重要無形民俗文化財

天津司舞の起源は古く、中世にまでさかのぼります。天津司舞で人形が演じている「田楽」は、平安時代から室町時代にかけて流行した芸能です。それをアレンジし、人形に舞させたのが天津司舞です。田楽自体は、現在も日本の各地で民俗芸能として伝えられていますが、人形田楽は天津司舞しか現存しません。また、人形による芸能という意味では、**日本最古の人形芝居**とも評されています。

古くから伝わる天津司舞は、明治維新や度重なる水害、戦争の影響を受け、何度も中断を余儀なくされてきました。そして今も、感染症の影響を受け、3年間の活動休止をやむなくされています。

この展覧会は、天津司舞に関わる**用具や記録類を展示し、継承の歴史と現状をご紹介します初めての機会**です。今、さまざまな文化において、継承の危機が叫ばれています。ですが、わたしたちはなぜ、それらを残したいと願うのでしょうか。過去から現在にいたるまで、天津司舞の継承へと駆り立てられてきた人々の想いに触れていただけましたら幸いです。



御成りの風景
昭和34年(1959) 内田宏撮影 山梨県立博物館蔵



人形装束 江戸時代前期 天津司神社蔵



神指入 延宝7年(1679)
天津司神社蔵



現代の御成り 平成31年(2019)

未来の伝承者たちへ

人形の操り方の練習の機会を増やすため、令和元年から2年にかけて、国庫補助による人形のレプリカ作成を行いました。感染症の影響により活動休止中の今、本展覧会にて**お披露目します**。

天津司人形レプリカ(御鹿島様)
令和2年(2020) 天津司の舞保存会蔵

あの頃の天津司舞

小瀬スポーツ公園建設以前、天津司舞は菜の花に彩られたあぜ道とともにありました。昭和30年代の写真に残るなつかしい風景をお楽しみください。

からくりのひみつ

組み立てや操法は、一子相伝の秘儀とされてきました。現在も、祭礼において内部のからくりの公開はされていません。今回、**特別に御神体の人形を展示し、そのからくりをご紹介します**。

天津司人形レプリカ(部分)
令和2年(2020) 天津司の舞保存会蔵

古き用具たち

県立博物館の調査により、江戸時代初期の奉納と思われる用具が再発見されました。

一般公開は、約60年ぶりです。



『甲斐叢記』より天津司舞 嘉永4年(1851) 山梨県立博物館蔵

天から降りきたる神々

「むかし、この地が草沼であったころ、天から12柱の神々が降りてきて舞い遊んでいた…」
甲府盆地の起源伝説である「湖水伝説」と天津司舞のかかわりや「田楽」についてをご紹介します。

関連イベント

ギャラリートーク

日時:5月29日(日)、6月11日(土)、6月26日(日)
いずれも14:00から1時間程度
会場:企画展示室
※事前申込不要、観覧券が必要
※イベントは変更・中止になる場合があります。

あそぼう!まなぼう! 寺子屋ひろば オリジナル紙芝居

「湖水伝説 天津司の舞のはじまり」
日時:6月5日(日) 11:00から30分程度
会場:ロビー 定員:6名
※事前申込不要(先着順)、参加無料

かいじあむ講座 「小瀬の天津司舞」

講師:丸尾依子(山梨県立博物館学芸員)
日時:6月18日(土)13:30から15:00まで
場所:生涯学習室 定員:30名
※事前申込不要、参加無料、当日12:30より、ロビーで整理券を配布します。

山梨県立博物館 Yamanashi Prefectural Museum

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田1501-1
Tel:055-261-2631 Fax:055-261-2632
E-mail:kenhaku@pref.yamanashi.lg.jp
URL:http://www.museum.pref.yamanashi.jp

アクセス

- ◆中央自動車道一宮御坂ICから車で約8分
笛吹八代スマートICから車で約12分
- ◆JR石和温泉駅南口からバスで約10分
富士急バス「富士山駅」・「鷲宿」行き
- ◆JR甲府駅からバスで約30分
富士急バス
北口2番のりば「富士山駅」行き
南口5番のりば「富士山駅」行き
- ◆富士急行・河口湖駅からバスで約40分
5番線「甲府駅」行き
- ◆富士急行・富士山駅からバスで約50分
4番線「甲府駅」行き



山梨県立博物館
ホームページ

背景写真:「御成りの風景」(部分) 昭和34年(1959)内田宏撮影 山梨県立博物館蔵



山梨県立博物館公式Twitter kaiseum_ypm